

ロボット介護機器 導入施設

こぶしえん

【施設概要】

運営法人: 社会福祉法人 徳心会

住所: 目黒区下目黒六丁目18番2号

対象: 身体障害者

定員: 施設入所支援 18名

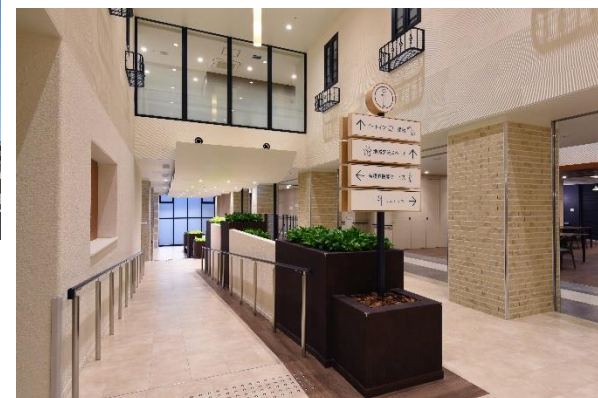
生活介護 40名

短期入所 2名



外観(東側)

プロムナード



1 導入機器

分類	製品名	台数	導入の理由
見守り支援機器	眠りSCAN	18台	・重度の身体及び知的障害の重複等により、ナースコールを押せない利用者がおり、巡回数を減らし良質な睡眠を確保するとともに支援員負担を軽減する。 ・視覚的に睡眠・心拍・覚醒の有無を確認・共有することで、支援業務の効率化と支援業務への活用を図る。
コミュニケーションロボット	OriHime	1台	・当施設は、特養等を含めた複合施設であり、地域住民との交流を目的としたプロムナード(散歩道)を施設内に設けている。 ・このプロムナードにおいて、地域住民と利用者が気楽に交流するためのツールとしてOriHimeを導入し、利用者が地域交流を通じて“生きがい”になるようなきっかけ作りをする。 ・居室内に引きこもっている利用者について、少しずつ居室外の利用者と交流し、部屋の外に出れるよう、支援する。

2 実施体制

- ・ リーダー：施設長
- ・ サブ：サービス管理責任者
- ・ メンバー：生活支援員、看護職員、栄養士

3 課題整理

- ・ 夜間支援にあたり、**排尿の把握が難しい場合や職員の不安感により過度に訪室**してしまい、利用者の睡眠を妨げることがある。
- ・ 開設したばかりの施設であるため、利用者の在宅生活が長く、入所施設での生活の環境変化に慣れず、夜間に覚醒するなど、**睡眠状態が不安定**になっている。
- ・ 在宅生活が長いため、集団生活になじめず、日中活動に消極的である。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、プロムナードを設置したにもかかわらず、**地域住民との交流**が進んでいない。

4 導入効果

【眠りSCAN】

- ・ 睡眠状況を把握し、睡眠不足による体調不良の予防支援に活かすことが可能となった。
- ・ パソコン画面で利用者の睡眠・覚醒を確認し、**夜間の訪室を回数を減らすことで、睡眠の質向上と共に、職員負担も軽減**した。

【OriHime】

- ・ 在宅生活が長く、居室に引きこもりがちな利用者にOriHimeを使ってもらい、タブレット画面に映し出された他の利用者と会話するなど、**徐々に引きこもりが改善**している。

5 機器導入後の課題と解決策

【眠りSCAN】

- ・ 眠りSCANは、他メーカーのエアーマットの使用を推奨しておらず、実際に**睡眠・覚醒の誤検知が発生したため、個人設定の変更で対応**した。

【OriHime】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、プロムナードを活用して地域住民等との交流ができず、本来の活用ができていないので、感染症収束後に実施できる体制を整える。
- ・ OriHime本体が小さく目立たないため、**帽子等の装飾を作成**し目立つようにした。